

やまぐちけんりつやまぐちはくぶつかん

山口県立山口博物館だより

https://www.yamahaku.pref.yamaguchi.lg.jp/



2025年11月号

7月18日(金)から8月31日(日)の期間に開かれた、特別展「山陽新幹線50年展」、10月24日(金)から11月9日(日)の期間に開かれた、「サイエンスやまぐち 2025」が終わり、博物館の3階が常設の理工展示室にもどりました。

◇◆◇ 山口博物館 の 理工展示室 ◇◆◇

理工とは、理学・工学という分野の研究で、毎日の生活の中で起きる、さまざまな出来事を科学の目で になる。 ない、社会に役立てているものです。

やまぐちはくぶつかん りょうてんじしつ こんかい やまぐちはくぶつかん りょうてんじしつ しょうかい 山口博物館には、2つの理工展示室があります。今回は、山口博物館の理工展示室を紹介します。

かいりこうてんじしつ 2階理工展示室

受付の近くの「2階理工展示室」では、科学技術が、どのように社会に役立てられているのかを学べる 展示があります。

タッチパネルを操作して、実際にロボットを動かしたり、工業の分野で日本の発展を支えている山口県の会社のすごい 技術を展示した「すご技コーナー」を見たりして、身近な科学について学ぶこともできます。



展示ロボット



すご技コーナー

3階理工展示室



りこうたいけん 理工体験コーナー

3階の理工展示室(体験コーナー)では、「どうして色が見えるのか」「どうして音が聞こえるのか」などの身のまわりの不思議を、自分の体を使って確かめてみようという展示が用意されていて、社会見学などで博物館に来た小学生に大人気の場所になっています。

こんかい りょうたいけん とく にんき そうち しょうかい 今回は、理工体験コーナーで特に人気のある装置を紹介します。



←詳しくは山口博物館ウェブサイトへ



<mark>山口県立山口博物館</mark> 〒753-0073 山口市春日町8-2 TEL 083-922-0294 FAX 083-922-0353

3階理工展示室(理工体験コーナーの紹介)

摩擦のスロープ

理工体験コーナーで、一番人気がある展示物が、「摩擦のスロープ」です。 いきおいをつけて壁を登り、壁の上にある赤いボタンを押すことができると、ファンファーレが鳴るというしくみになっています。

「摩擦のスロープ」には、金属、木、プラスチックでつくられたの3つのコースがあり、表面のすべりやすさの違いから、ゴールの難しさが変わります。



摩擦のスロープ

摩擦(まさつ)って何?

消しゴムを使って文字を消すとき、縦に軽く押し当てた場合と、しっかり押し付けた場合では、消しゴムを動かす力の大きさが変わります。このときの力を「摩擦(まさつ)力」といい、人が歩いたり、車が止まったりできるのも摩擦力のおかげです。

摩擦力の小さい米の上では ツルツルすべってしまうよね

マンカッシャー



マンカッシャー

なった。 摩擦のスロープの向かい側に展示されているのが「マンカッシャー」です。

もからなら 中央にイスがあり、イスの上側に赤色と青色のロープがつながっています。 イスに座った人を持ち上げようとしたとき、青色のロープでは、大人のような また。 大きな力が必要ですが、赤いロープを使うと、小学生でも持ち上げること ができます。

> クレーン車も、このしくみを利用して ***
> 重い荷物を持ち上げているんだよ

滑車(かっしゃ)って何?

滑車は、引っ張る方向を変えたり、ロープに荷物をぶら下げたりするための装置です。 ひもでカーテンの開け閉めをする装置やロープウェイなどにも使われています。 滑車を上手に組み合わせると、小さな力で大きなものを動かすことができます。



滑車とロープ

こんかいしょうかい てんじぶっ ちゅうがっこう リ か じゅぎょう がくしゅう 今回紹介した2つの展示物のしくみは、中学校の理科の授業でくわしく学習することになります。

「体験したことがある」ということが、みなさんの未来の「なっとく」につながるはずです。

できばらけんりつやまぐちはくぶつかん じっぷっ さわ たいけん ぜひ、山口県立山口博物館で実物を触って、体験してみてください。



